

写話による、
ありのままの子ども



車

岩手県山田町編



ソイとカサゴ



荒神海水

VOL.
4

この冊子のねらいと読み方

子どものありのままを 洞察する

身近な子どもについて、
私たち大人は何を知っているでしょうか。
どこまでわかっているでしょうか。

大人は、常識のフィルターを通して、
「子どもとはこんなものだ」と決めつけたり、
「子どもはこうあってほしい」と願うあまり、
子どもの姿を見ているようで見ていないのかもしれませんが。

私たち、こども研究所は、
そんな大人たちの「子ども観」を広げることがめざして、
独自の調査を通し、子どもを「ありのまま」に捉え、
その事実や実態を多くの人と共有する活動を続けています。

本レポートは、今を生きるさまざまな子どもたちが、
どんなヒト・モノ・コトに感応し、
そこから何を感じとり、何を考えているのか、を
子どもたち自身のナラティブ(語り)を通して捉えたものです。

子どものリアルを感じるとともに、
身近な子どもを見つめなおすきっかけとして、
ご活用ください。

写話による、ありのままの子ども

VOL.
4
目次

調査時期：2019年11月10日／23日～24日

今回の調査地	02
調査について	04

インタビュー

Aさん (小学5年生／10歳／男子) [自分らしい写真&一番好きな写真] ポケモンカード、ハチミツ屋のジェラート	05
Bさん (小学5年生／10歳／女子) [自分らしい写真&一番好きな写真] 荒神海水浴場、ピアノ	09
Cさん (小学5年生／10歳／女子) [自分らしい写真&一番好きな写真] 大好きな本、好きな歴史	13
Dさん (小学5年生／11歳／男子) [自分らしい写真&一番好きな写真] レトロ列車、しまじろう	17
Eさん (小学5年生／11歳／男子) [自分らしい写真&一番好きな写真] サッカーの仲間	21

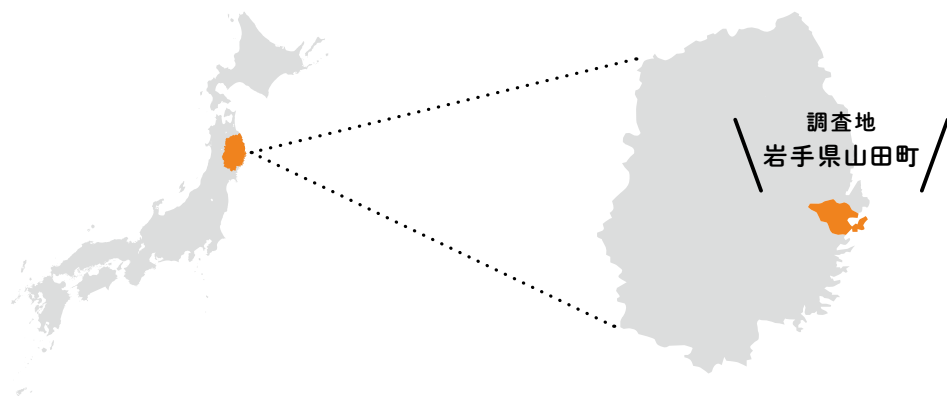
鼎談 子どもたちの写話から見えること	25
--------------------------	----

石井麻木 (写真家)

福本理恵 (東京大学 異才発掘プロジェクトROCKET プロジェクトリーダー)

杉山泰啓 (博報堂教育財団 こども研究所)

連載漫画 子みかるわーど 榎本俊二	28
-------------------------	----



(いわてけん やまだまち)

岩手県山田町

今回の調査地は、岩手県の沿岸中部に位置する山田町です。北部は宮古市、南部は大槌町に接し、海岸部は湾と入江が複雑に入り組んだリアス式海岸。2011年の東日本大震災では、沿岸部を襲った津波によって甚大な被害を受けました。周囲約20kmの山田湾はミネラル分が豊富で、湾内の大島と小島を囲むようにカキやホタテの養殖筏が浮かぶ景観が広がります。江戸時代前期の1643年には、暴風雨に遭遇したオランダ船が水と食糧を求めて漂着(ブレスケンス号事件)。小さな漁村だった山田の人々が乗組員を温かく迎えたことが縁で、山田町はオランダのザイスト市と姉妹都市協定を結んでいます。

[今回の調査会場]

山田町
ふれあいセンター
はびね

小中高生世代をはじめとする子どもの居場所と図書館の機能を併せ持つ公共施設。ワークショップやコンサートなど、さまざまなイベントもおこなわれている。設計段階から山田町の子どもたちが関わり、建築にも子どものアイデアが随所に取り入れられている。

人口・世帯

人口	15,826人
人口密度	60.2人/km ²
転入/転出	378人/464人
年少人口(0-14歳)	1,655人 ※総人口の約10.5%
生産年齢人口(15-64歳)	8,568人 ※総人口の約54.1%
老年人口(65歳以上)	5,603人 ※総人口の約35.4%
世帯数	6,218世帯 ※1世帯あたり平均2.55人
外国人人口	39人 ※総人口の約0.2%
昼間人口	14,637人

環境・経済

面積	262.81km ²
可住地面積	26.50km ² ※総面積の約10.1%
耕地面積	5km ² ※総面積の約1.9%
従業者数	5,248人
第2次産業従業者数	1,653人
第3次産業従業者数	3,510人

データはすべて、総務省統計局『統計でみる市区町村のすがた2019』による。

オランダ島と養殖筏



隣の小島と並んで山田湾にひょっこり浮かぶ無人島・大島は、江戸時代のオランダ船漂着にちなみ「オランダ島」の名で海水浴場としても親しまれている。山田湾はカキ・ホタテの養殖も盛んで、町の主力産業となっている。

防潮堤



東日本大震災では町の人口の4%強が犠牲となり、約4割の家屋が全壊した。古来、数々の大津波にさらされてきた地域でもあるため、より大きな津波に対応できる防潮堤の再建が震災後に決定し、現在も建設が続いている。

山田八幡宮



山田湾を一望できる高台に鎮座する神社。毎年9月の例祭は、大杉神社の例祭とあわせて「山田祭り」と呼ばれる町内最大のイベント。町中を神輿が練り歩き、八幡大神楽や八幡鹿舞、山田境田虎舞が奉納される。

大杉神社



漁の神・網場大杉(アンバさま)を奉った神社。東日本大震災により流失したが、2013年に拝殿再建。2014年に神輿も復元され例祭が復活した。町内を駆け回るあばれ神輿と、神輿を担いだまま山田湾へ入る海上渡御が見もの。

中央公園



陸中山田駅前に整備され、2019年4月に利用が開始された大型の公園。遊具や広場、バスケットゴールなどがあり、子どもたちの遊び場としてはもちろん、地域住民の憩いの場としても機能している。

山田町総合運動公園サッカー場



震災後、人工芝に再整備されたサッカー場。浦和レッズやジュビロ磐田、横浜F・マリノスといったJリーグチームによる復興支援活動(スクール実施や大会実施など)もこのサッカー場を会場におこなわれてきた。

写真を通じた 子どもの語りから 一人ひとりの感性・思考を ありのままに捉える。

ともすれば大人たちが見逃しがちな子どもの感性・思考を探るために、博報堂生活総合研究所が開発した「写真談話構成法(略称:写話)」という調査手法を使用しました。

子どもが撮った「好きなヒト/モノ/コト」の写真を通じて、子ども一人ひとりが主体的に感じていること、考えていることのありのままを捉えました。

対象者 小学校5年生の男女 計5名

調査方法

- ① 子どもたちに簡易フィルムカメラ「チェキ」を渡して、休日も含めた一週間、「好きだな」「いいな」と思ったヒト/モノ/コトを自由に写真に撮ってもらう。
- ② 後日、撮影した写真をもとに1時間のデプスインタビューをおこなう。
- ③ デプスインタビューの内容をそれぞれの保護者に共有し、感想を聴取する。

調査地 岩手県山田町

調査時期 2019年11月10日/
23日～24日

調査協力 山田町ふれあいセンター はびね

実査機関 株式会社アクセス・ジェーピー
(現・株式会社インタージクオリス)

1

Aさん

小学5年生 / 10歳 / 男子

自分らしい写真



一番好きな写真

自己紹介

家族構成: 父、母、姉(高校1年)、兄(中学2年)、本人

ペット: ー

携帯端末: ー

通学手段: 徒歩

クラブ活動: ネオホッケー(※①)クラブ(小学校の体育の授業でもみんなで行っている)

係・委員会: 児童会執行部(副会長)

好きな教科: 体育、算数、図工(算数は公文式で中2の連立方程式まで勉強したので学校の内容を簡単と感じている)

塾・習い事: 公文式(週2・数学と国語)、Z会(国算社理英)、スイミング(盛岡市内)

趣味・特技: 水泳

学校で一番好きな時間: 昼休み(木陰で一人で休憩するか、おにごっこで友達と遊ぶ)

● 紙幅の都合により、残念ながら掲載しきれなかった写真があります。

① ネオホッケー: スウェーデン発祥の競技をルーツに、日本の施設環境にあわせて安全に改良された室内ホッケーの一種。

仲いいけど嫌い

——三人兄弟なんだね。お兄ちゃんとは仲いい？

ムカつく。いつもしつこく言ったり、挑発してくる。

——お姉ちゃんは？

ムカつくけど、やさしい時はけっこうやさしい。

——どういう時やさしいと思う？

一緒に遊んでくれたり。

——何をして遊ぶの？

カード。ポケモン。俺たち兄弟全員持ってる。千何枚以上。

——ポケモンカードの写真もあるね。

友達ともポケモンカードで遊ぶ？

友達とやったことはあまりない。カードの貸し借りとか、そういうの(学校で)禁止になってるし。それでトラブルになったりするからって。

——お父さんはどんな人？

うるさい人。怒る時もお姉ちゃんだけあんまり怒らないで、俺と●●(兄)のことばかり怒る。

——お父さんと遊ぶこともある？

うん、トランプで。ページワン、セブンブリッジ、ポーカー、スピード。

——お母さんは？

やさしいけどうるさい。何か手伝いとかしたら機嫌よくなるからそれで。

——何を手伝っている？

たまたまテーブル拭いたりしてる。仕方なく部屋片づけたり。

——学校で一番好きな時間は？

昼休み。

——昼休みは何をする？

木陰で一人で休憩するか、おにごっこで遊んでいるか。

——休憩しながら何か考える？

眠いなって。

——おにごっこは大勢でやる？

普通に先生が入ったら20~30人は

いる。でも俺達の仲いい人だけでやってる、5年生のほうでは。

——仲がいい子は何人ぐらい？

8人ぐらいはいるけど。嫌いな人もけっこう来る。

——仲がいいのに嫌い？

うん。幼稚園から仲いい人はたまにケンカするんで。

——友達と学校以外でも遊ぶ？

公園。あそこのでっかい公園(中央公園)に行行って遊んだり、犬さわってきたりする。

——犬の写真もたくさんあるね。「近所の犬」というのは？

自分の家の周りの犬。

——なぜ撮ったの？

ヒマな時とかに普通に近からさわりに行ってるから。

——なんという名前？

マル。かわいい。

——「さつき・わさお」は？

タクシーの運転やってる社長さんが飼っている犬。名前つけてって言われて決めて(名づけた)。

——なぜこの二匹を4枚撮ったの？

やっぱりかわいい。普通に何もなくても自分から寄ってきてくれる。あと、かまってくれないと腹出してくるから、ついついさわっちゃう。



電車とトンネル

——好きな場所とかある？

ある。駅。

——どこの駅？

そこ(陸中山田駅)と、久慈と宮古、釜石、盛(すべて三陸鉄道の駅)。

——なぜ好きなの？

山田はちょうど自分達の家に近いから、三鉄(三陸鉄道)が見えるし。釜石、盛、久慈、宮古はでっかいし。夏休みの時に一人で三鉄乗って久慈から宮古まで乗ったから、次は盛から山田まで乗りたい。

——一人で怖くない？

怖くない。けっこういい。

——一人で乗ると何がいい？

景色とか一人で楽しめる。一人でいろんなことできるから。一人のほうが静かで集中できる。

——景色を見るの？

あと線路の高さと橋の高さ。トンネルの長さ。どれが一番長いとか。トンネルの長さは書いてないけど、自分で感じて、だいたいかな。

——どうやって感じるの？

三鉄は(最高時速)90キロだから、それくらい(の通過時間)で何キロかなくて。

——トンネルの写真もあるけど、なぜ好きなの？

やっぱり長さ。あと名前。トンネルにはいろんな名前がある。

——駅や踏切も撮ってくれたね。

駅とかは電車に関して、小さい頃から電車好きだったから。

——駅を表と裏と両方から撮ってみたのはなぜ？

表だけじゃ裏のほうが見えないから、裏も一緒に撮った。後ろから見た感じと表から見た感じが違うから。

——踏切を撮ったのはなぜ？

盛岡にいた頃、電車とかでどっかに出かける時、いつも電車とかのこと見て、線路が近くにあったから。それで踏切が上がっているところも、なんかいい感じがして。

——いい感じてどんな感じ？

カンカンカンって音と、電車が通り過ぎていく時の風景。

——盛岡には何歳までいたの？

2、3歳から幼稚園の年長ぐらいまで。震災の被害で。

——三鉄の電車も二種類撮ってくれたね。それぞれ教えてくれる？

「レトロれっしゃ」は室内が豪華で良さそうだから。お座敷とかでテーブルとかカーテンがついてる。黒くてカッコいい。

——「ふつうれっしゃ」は？



身近に普通にすぐ通るとか。

——三鉄の魅力は何？

やっぱり形、色。レトロとか好きな種類(の車両)があるかなと思うと。

——他の電車とは違う？

それは電車はけっこう、ほとんど同じだから。色、形が違うだけで。JRとかのほうの電車が。

——JRはどこがいいの？

長い区間。あと、大阪とかそっちのほうに行くとか16両編成だからこっちより長い(三鉄は1~4両編成)。

——長いほうがいい？

長いと逆にカッコよく思うから。

一人の時間とチームプレイ

——「へや(自分)」について教えて。

自分の部屋だからやっぱりいい感じ。

——部屋で何をしている時が好き？

普通に一人で本読んだり静かにでき

るから。

——本を読む以外にやることは？

宿題とか。絵を描く。

——どんな絵を描いている？

自分の好きな『七つの大罪』(※②)とか。

——家でゲームはする？

あんまりしない。

——ゲーム機は持っている？

持ってるけど、スイッチ(Nintendo Switch)は持ってないし。プレイステーション(PlayStation)はお兄ちゃんが持っていて一緒にやる、たまに。Wiiもある。

——今好きなことは？

『七つの大罪』。漫画。

——あと興味があるのは？

『進撃の巨人』(※③)『ワンピース』(※④)『ルドルフとイッパイアッテナ』(※⑤)。

——漫画の他に好きなものは？

やっぱり自転車。久しぶりに買ってもらったから。あんまり最近、自転車

④ ワンピース:尾田栄一郎による少年漫画。国内はもとより海外でも高い人気を誇る。全世界累計発行部数は4億7000万部を突破(2020年4月時点)。

⑤ ルドルフとイッパイアッテナ:齊藤洋の児童文学作品。1986年度の講談社児童文学新人賞入選作で、2016年に劇場アニメ作品が公開された。



はやってなかった。

——最近買ったから撮った？

自分でも乗りやすくて好きな乗り物だから。

——電車と自転車とどっちが好き？

両方。電車はどんどん通り過ぎていく景色と、高い場所から見れる景色。自転車は乗っている時に、立ち乗りしたりすると風が気持ちいいから。

——「校長先生」を撮ったのは？

学校でおにごっことかで遊んでくれるしやさしい。

——やさしいと思うのはなぜ？

おにごっこでほとんどの人はオニやりたくないから、校長先生入っていると校長先生がオニやるから。だから、そういうのがけっこうある。

——校長先生のオニはどう？

めっちゃ速い。ロックオンしたら校長先生疲れるまで追いかけるから、ほとんど捕まる。校長先生は人気者。

——「スイミング進級バッジ」は？

自分の泳いでいるところは撮れないから、それを代わりに。今までやってきた分。

——「しょうじょう」も水泳？

これは町の記録会。1位、2位、3位。

——進級バッジと記録会の賞状と、A君の中でどっちが大事とかある？

こっち(賞状)のほうが大事。

——なぜ？

水泳で7人ぐらいで競って順位が決まるから。

——競ったから大事？

競ってその記録があるから。それと、リレーで俺たちのほうは4人で50メートルを泳ぎ切って、それでみんなで協力して頑張ったから大事。

——「駄菓子屋」を撮ったのはなぜ？

お金持っている時、けっこう買いに行く場所だから。腹減った時にお金持ってきて買って、友達がいいる時は一人で食べているけど、友達がいる時はちょっとあげたりしている。

——みんなよく行くの？

うん。めっちゃ行ってる。嫌な人にも会う。

——嫌な人ってどんな人？

4年生とかでめっちゃむかつく、しつこい。

——そういう時はどうするの？

無視。もしくは口で対抗。

——そうしたらその子は？

普通にめっちゃ言い返してくるけど、ムカついた時はすぐ逃げる。しつこいから。

——「ハチミツ屋のジェラート」というのは？

盛岡で住んでた家の近所の藤原養蜂場というアイス。盛岡にいた時によく、たまに買いに行って、けっこうおいしかったから。

——自分らしいと思う写真はありますか？

「ポケモンカード」。

——なぜ？

やっぱり小さい頃から使っていて、普通に自分でヒマな時以外でも遊びたい時とか、お母さんが上(自分の部屋)で何をやっているのかわからない間にも一人でやってるから。

——どの写真が一番好き？

(即答で)「ハチミツ屋のジェラート」。昔から行ってたからお気に入り。

——山田のことをどう思う？

自然はけっこういいんだけど、なんか嫌なことがあっても、ちっちゃくてすぐいろんな人に会っちゃうから。そういうところではちょっと嫌。

——自然って？

山。虫もけっこういっぱいいるし。

——海は？

自然は山のほうという感じで、海は普通に海。山のほうにあるほうが自然っぽいから。

——盛岡と山田はどっちが好き？

盛岡かな。都会ですぐいろんな場所に店があるから便利。

——山田は不便？

不便ではないんだけど、狭いから遊ぶ場所も少ない。

おうちの方から 自分の頑張りを示す物の中で、一番大事なのが町の水泳記録会での賞状やメダルだったことが意外でした。一人で行動したりするのが好きだから、自分

一人での頑張りの証の方が大事と言っただけ、水泳記録会を通して、友達と協力して頑張ることの楽しさや達成感を得られたようで良かったと思いました。

2

Bさん

小学5年生 / 10歳 / 女子



一番好きな写真



自分らしい写真

自己紹介

家族構成：父、母、姉（小学6年）、本人、弟（小学3年）、弟（小学1年）

ペット：—

携帯端末：—

通学手段：徒歩

クラブ活動：バドミントンクラブ

係・委員会：児童会執行部

好きな教科：理科（実験が好き）、音楽、体育（跳び箱が好きで最高8段まで飛べる、鉄棒も得意）

塾・習い事：ピアノ（3歳から習っている）

趣味・特技：スノーボード

学校で一番好きな時間：2時間目と3時間目の間の業間休み（おにごっこをして遊ぶ）

家族とのお出かけ

- 四人兄弟だけど、兄弟はどう？
ときどき弟とかとケンカしたりするけど、勉強とかお姉ちゃんが教えてくれる。
- お姉ちゃんとは仲いい？
ときどき仲いい。
- ときどき仲よくて、ときどきは？
ケンカする。
- 弟二人はどう？
言うことを聞かない。
- 兄弟4人で遊ぶこともある？
そんなにしない。
- お父さんはどう？
ときどきなんか……作文とかそういうのを手伝ってくれる。
- お父さんは好き？
普通。
- なぜ普通？
なんか怖いところもあるから。



- たとえばどういうところ？
怒ったりする時。(姉妹兄弟で)ケンカしたりとか。
- お母さんは？
やさしくて……。
- 家では何して遊んでいる？
風船とか。
- ゲームはする？
そんなにしない。
- Nintendo Switch とか家にあったりする？
ない。
- 興味があることは？
スノボ。
- 特技に書いてあるね。いつから始めたの？
私は3年生ぐらい。
- 難しくない？
難しい。
- 楽しい？
楽しい。



- 冬は何回ぐらいスノボ行くの？
10回以上。
- 「家族の似顔絵」の写真があるけど、誰が描いたの？
えっと、テレビで絵を描いてる人がいて。その人に書いてもらった。
- どこで描いてもらったの？
金ヶ崎(岩手県内陸部)のトヨタのお祭り(オールトヨタグループフェスティバル)で。
- なぜこれを撮ろうと思ったの？
え〜と、描いてもらって、え〜……。なんか全部絵が似てたから。弟とかすごく似てるから撮ってみた。
- 「ターザンロープ」とか、アスレチック公園で撮った写真がたくさんあるね。誰と行ったの？
お父さんと弟(二人)と行きました。
- よく行く？
はい。
- どんなことをして遊ぶの？
おにごっことか、虫を捕まえたりとか。
- 虫は怖くない？
うん。
- 何を捕まえるの？
カナヘビ。小さいものもいるし、大きいもの。
- 逃げるの速いんじゃない？
速い。お腹のほうを持って捕まえる。
- 「顔(松ぼっくりで作った)」かわいいね。こういうのよく作る？
作ってない。
- 貝殻の顔もあるけれど、……。
- 貝殻で顔を作ったのは海に行った時かな？誰と行ったの？
お父さんと弟(二人)と。
- 「家の車」はなぜ撮ったの？
えっと、いろんな場所とかに家族全員で行けるので撮ってみました。
- どんどころへ行くの？
岩手県の中のいろんなところ。(スキー場のある)栗石とか。

幼稚園と小学校

——幼稚園の写真もたくさんあるね。Bちゃんに通っていた幼稚園？はい。



——わざわざ撮ってくれたってことは、幼稚園は楽しかった？

楽しかった。

——小学校の写真は1枚で、幼稚園が4枚。幼稚園のほうが楽しかった？幼稚園のほうが楽しかった。

——今は楽しくない？

楽しい時もあるけど……。楽しくない時もある。

——幼稚園で楽しかった思い出は？年長の時にお泊り保育というのをしたことがある。

——他にも覚えていることはある？野菜を育てた。カリフラワーとかナスとか。

——今も幼稚園に行くことはある？放課後にときどき行ったりとか。

——一人で行くの？

友達と。Cちゃん(p.13～)。

——先生とお話したりするの？



(うなづく)

——先生とどんなことを話すの？

学校のことを話します。

——学校のことを相談したりとか？

はい。アドバイスとか(してくれる)。

——お母さんには言えないけど、幼稚園の先生には言えることもある？いや。

——「●小ジャージ」は？

この服を着て学校に行ってる。

——制服みたいな感じで毎日？

はい。

——なぜジャージを撮ったの？

山田町の6個の学校が統合(※①)してしまうから、撮ってみました。

——来年はこのジャージどうなる？

着てもいいけど、新しいジャージ。

——それはどう？

このジャージのほうが良かったかなって。

——学校の統合はどう？

いいと思うけど、でも●小の統合しないほうがいい。

——なぜ？

人数が増えて、ケンカするのが多いから。

——ケンカしそう？

私はしなないと思うけど、男子が。なんか言い合いとかになる。

——「大杉神社」はなぜ撮ったの？

今年、この大杉神社のお祭り(※②)で旗持ちっていうのをしたので撮ってみました。

——旗持ちって何をやるの？

え～と、神輿を旗を持って追いかけて行く。

——どんな旗？

大きくて、いろんなお面とかを飾っている。

——旗持ちをやったどうだった？

重かったけど、楽しかった。

——楽しかったところをもう少し教えて。

いろんなところに行って、神輿が回ったりする。

——一日中旗持って歩くの？大変じゃない？

大変だったです。

——また来年もやりたい？

はい。

——それはなぜ？

いろんな人が見てくれるから。

——「私の自転車」は？

休みの日に家の周りの道路で乗ります。

——遊びに行く時も使っている？

使わない。

——なぜ撮ってみたの？

(姉の)お下がりの自転車で、たくさん



乗ってるから撮ってみました。

——失敗した写真も持ってきてくれたんだね。真っ黒の写真は何を撮ったの？

ランドセルとかを撮ってみた。

——なぜ撮ろうと思ったの？

5年間ずっと使っていて好きだから。

——ジャージも一緒だね。ずっと使っているものが好き？

(うなづく)

おじいちゃんとおばあちゃん

——「スケートボード」は？

おじいちゃんに買ってもらって。クリスマスの時に。

——スケボーはいつやるの？

休みの日におじいちゃんち(山田町内)

① 6小学校統合:2020年度の学校再編により、大沢、山田北、山田南、織笠、轟木、大浦の6校が統合。「山田小学校」となり、全校児童数は300人超に。
② 大杉神社例祭:前日におこなわれる山田八幡宮神幸祭と並ぶ山田を代表する祭り。「おしおごり」と呼ばれる神輿の海上渡御が有名。



スケートボード



ブランコ



いちょうともみじ

でやってる。

—なぜおじいちゃんちで？

家は石がいっぱいあるから。(舗装された)道路じゃないとできない。

—Bちゃんが欲しいと言って買ってもらったの？

弟がやっていたので、いいなと思って買ってもらいました。

—おじいちゃんちにはよく行く？
土曜日に行きます。

—「ブランコ」もおじいちゃんち？
おじいちゃんが手作りで作ってくれた。

—乗ったりする？

ときどき。

—他にも何か作ってくれる？

うんていとか。

—「いちょうともみじ」も教えて。
おじいちゃんち行って、おばあちゃんが作ったのを玄関に飾って。それでいいなと思って。

—押し花とは違う？

はい、違います。布で縫って作った。

—おばあちゃんはこのものを他にも作る？

季節ごとに桜とか。縫って。

—それを見てどう思う？

私も作ってみたいと思う。

—自分らしいと思う写真はありますか？
(しばらく考え込んで)……これ(「荒神海水浴場」)。

—なぜ自分らしいと思う？

海が好きだから。

—どうして海が好きなの？

魚とかがおいしい。

—他にも理由はある？

貝がきれい。

—貝を集めたりする？

ときどき集めてる。

—一番好きな写真は？

これ(「ピアノ」)。

—なぜこれを選んだの？

ずっとピアノ習ってて。それで好き。

—どういうところが好き？

いろんな感じの曲があるから。

—山田のことは好き？

好きです。

—山田の好きなところを教えて。

海の幸がおいしい。

—他にもある？

公園がたくさんある。

—アスレチック公園の他にはどういところに行く？

中央公園。なかよし公園。

—宮古とか盛岡も行くことありますか？

—山田と比べてどっちがいいとかある？

盛岡のほうがいい。

—なぜ？

スキー場があるし。

—他にもある？

広いところ。

—盛岡に住みたい？

住みたくない(笑)

—なぜ？

夏の時に、盛岡暑いから。

おうちの方から 手芸やブランコなど小さい頃から慣れ親しんでいるものでも、おじいちゃん、おばおちゃんが作ってくれたということを大切に想っていることが分かり、そういうことを口に出さないで、意外に思いました。

弟を撮った角度がとても自然で、いつも

弟をどんな風に見ているかが伝わってきて、そこにこの子らしさを感じました。

一番下の弟には教えてあげることが多いので、いつも見守る視線が客観的に見えて、弟を撮った写真はBからこういう風に見て、助けてあげたり、教えてあげているんだなと分かりました。

3

Cさん

小学5年生 / 10歳 / 女子

自分らしい写真



大好きな本



好きな歴史

一番好きな写真

自己紹介

家族構成：父、母、姉(高校2年)、本人
ペット：—
携帯端末：—
通学手段：徒歩
クラブ活動：バドミントンクラブ
係・委員会：六年生を送る会実行委員、保健・体育委員会、配達係

好きな教科：音楽、体育、国語、社会(歴史)
塾・習い事：—(水泳を習いたいと思っている)
趣味・特技：読書、マリンスポーツ(夏に大島などで開かれる海洋教室でカヌーやサップを満喫している)
学校で一番好きな時間：友達とのお話、休み時間の遊び

頑張っているところがいい

——もうじき誕生日なんだね。プレゼントは何が欲しい？

スイッチ(Nintendo Switch)か本。

——どっちがいい？

今のところは本がいいかな。

——どんな本が好き？

学校での物語が私好きなので。題名で言うと、『星の涙』(※①)っていうやつがあって。ほぼ家にあるのが、学校の物語なんで。

——漫画よりも本？

小説も漫画も好きなので。学校では小説を読むんですけど、家では小説も漫画も読んでます。

——本の写真もあるね。「大好きな本」は？

ここ(はびね)で借りた本なんだけど、学習発表会で『走れメロス』というのをやって。劇でやってから本当に興味を持ってきていて。

——何にひかれるの？

メロスの、主人公なんだけど、友達のために一生懸命、友達のことしか考えてなくて。頭の中が友達のことだけでいっぱい、夢中で走ってお城まで到着して。処刑をやめて。

——この「好きな小説」は？

『星の涙』。

——さっき教えてくれた本だね。どんなお話？

学校での出来事。仲の悪い男子と



どンドン話していくうちに仲良くなっていく。私も男子とはけっこう仲が悪いし、見習おうかなと思って。

——もっと男子と話そうかなって？

口の悪い男子には言いたくない。

——どんな男子なら話してもいい？

やさしい人とか、一生懸命な人。

——「好きなマンガ」は？

お姉ちゃんが全部買った本なんだけど、家族全員が読んでくれてすごく面白くて。

——Cちゃんが好きな漫画は？

『あやかし(緋扇)』(※②)。怖いところ(が好き)。



——家族の写真もいくつかあるね。「家族写真」は？

私が2、3歳の時、水族館に行って写真撮ってもらったんです。

——なぜ今回撮ろうと思ったの？

今までの小さい頃の中では、それが一番楽しかった思い出だし。お魚をペンギンにあげて楽しんだ。

——お母さんのことを教えて。

まあ頑張ってるところがいいと思う。

——どうして頑張っていると思う？

休みの日とかはしょっちゅう(家事を)やっているし、休む時間も午後しかないから。まあ午前、休憩もあまりしないし。頑張ってる。

——お母さんは好き？

好き。

——どういうところが好き？

やさしいところ。

——お父さんはどんな人？

仕事に行く時には真剣だけど、休日はずごいガラガラしてる。

——真剣って思うのはなぜ？

スポーツのやつ(テレビ中継など)になるとすごく真剣になる。

——どんな感じなの？

なんかいけいけ！とか、頑張れ！とか、やった！とか。

——お父さんは好き？

好きと普通の真ん中ぐらいかな。

——なぜ真ん中ぐらい？

まあ頑張っているところはいいと思うんだけど。面倒くさがり屋だから。

——頑張ってるというのは？

家族のために頑張ってくれてる。

——なぜ面倒くさがり屋だと思う？

夜に買い物頼まれることが多いんだけど、寒いから嫌だとか。

——休日ガラガラするのもダメ？

ダメだと思うけど、相当疲れてるのかなって。

——でも家のこともして欲しい？

お母さん困ってるから。本当に一日で数えきれないぐらい仕事してるから。大変だからお父さんも手伝って、見て欲しいからと思ったから。

——お姉ちゃんはどうな人？

怖い怖いけど、仲のいい時もある。

——どんな時に怖いと感じる？

え〜、なんか。ただ単に片づけただけなのに怒られる。高校のものだから





さわらないと言われる。

—お姉ちゃんは好き？

まあ好きは好きかな。

—仲の良い時はどんな時？

遊ぶ時。カルタとか、トランプとか。外でバドミントンやテニスしてる。

—歳が離れているけど、けっこう一緒に遊んでくれるんだね。

でも2年後いないからな。大学だから(家からは通えないので離れて暮らす)。

—「姉と私」の写真は？

私の1歳から3歳ぐらいの時の写真を、姉と撮ったもので。一番その写真が気に入っている。

—なぜこれが一番なの？

私は笑顔を出していないけど、お姉ちゃんの笑顔がすごくいいし。一緒に遊んだ記憶が少しあるから、その思い出がいいなと思ったから。

ハマっているのは戦国時代

—好きな教科はある？

音楽と体育と国語。

—それぞれどういうところが好きか教えて。

音楽はリコーダーが好きで、体育はドッジボール。ドッジボールは授業でもやるし、休み時間でもやる。

—国語は？

音読するところが一番好き。読むのが好きだから。私は物語が好きだから、昔の物語が好き。未来のこととか

も好きだし。社会もけっこう好き。

—社会はなぜ好きなの？

歴史。ハマっているのが戦国時代のやつ。お姉ちゃんが勉強しているところをチラチラ見るとそういうのもやってるから、それでハマった。

—ハマって何をしている？

お姉ちゃんの(教科書など)をちょっと借りて読んだり、お姉ちゃんが小6の時に使っていた教科書を読み返してやったりとか。

—「好きな歴史」は？

6年生のやつ(副教材)だけど、歴史が本当に好きだから。5年生から勉強したほうが(6年で授業を受けても)すぐ分かるから、今のうちにもう勉強したほうがいいなと思ったから。

—歴史は何が面白い？

昔の人はどういふうに生活してたのかというのが一番気になってたから、お姉ちゃんの高校生の勉強の教科書を借りて読んだり、6年生の本を何回も読み返してた。

—将来何になりたい？

歴史が分かる人。

—就きたいお仕事はある？

看護師。20歳~25歳以上のところから看護師はやりたいと思ってる。

—なぜ？

看護師を勉強するのは大変だけど、人を支えているのが身に染みて、やってみたいなと思ったから。

—何かきっかけがあった？



私も一回入院したことがあるから。その時に本当にやさしくしてもらって。何回も支えてもらったから、それで看護師さんになろうと思った。

—「友達からのプレゼント」は？

転校した友達からの最後のプレゼントだったので、ちょっと思い出のことで撮ろうかなと思ったからです。

—これは普段どこにあるの？

何回も見られるように近くに置いてあります。

—何回も見るのはなぜ？

さみしいし、すぐ思い出せるように見れるようにしてるからです。あっちでも元気にしてるかなとか。どう思ってるかなとか。

—父の日のプレゼントの写真もあるけど、プレゼントをよくあげたりもらったりする？



うん。誕生日の日にクラスみんなから誕生日おめでととか大声で言ってもらったり、いろいろとプレゼントもらったりとかしてます。

支え合うことが一番大切

—「おゆうぎ会」はいつの？

幼稚園の時。

—もう少し教えて。

今でも親友のBちゃん(p.9~)(と一緒に写った写真)。ずっと一緒に遊んで来たし。楽しいお話とかたくさんしてるから。

—Bちゃんと一緒に写っているから撮ったのか。仲良しなんだね。

どんな時も一緒だったから。親友だから、支え合うことが一番大切だし。



他の人とも仲良くできてるんだけど、一番に仲良しで、一番最初に仲良くなったから。そこからずっと仲良しになって、今楽しい気持ち。私が泣いたりしたらなぐさめてくれる。

—— **どんな時になぐさめてくれる？**
友達からいじめられた時とか。言葉遣いとかで傷ついて泣いたりすることがあって。私のクラスの男子すごい口が悪くて。でも時にはやさしいし、支え合うこともあるから、別にそれはそれでいいと思うけれど。

—— **そんな時Bちゃんは どうして くれるの？**
面白がらせてくれるし。辛い時も楽しませてくれる。

—— **逆にCちゃんがBちゃんを支えてあげることもある？**
Bちゃんも泣く時があるんだけど。思い切って私がやめなよって言ってくれたら(伝えたら)、男の子たちもやめてくれたけど。支えてもっと友情が

深まったかなと。

—— **Bちゃんと一緒に幼稚園に行くこともあるんだよね。幼稚園では何を しているの？**

知らない子ども(園児)たちと一緒に遊ぶこともあるけれど。もっと仲良くなれるし、小学校に来てからも楽しんでくれるかなと思って。本当にみんなかわいし、遊んで遊んでって言うってくれるから、つつい時間が少なくなっちゃう。

—— **海の写真もいくつかあるね。**
大島一番好きで、大昔にオランダ人が本当に小さい船でこの山田町に着いて。

—— **なぜ大島が一番好き？**
よく行くし。夏、海洋センター(※③)っていうところに行って、カヌーとかサップとか、大島と小島に行って遊んだり。大島では飛び込みしたり。

—— **「自分の影と海」は？**
海が青くてきれいだから撮ってみよ

うかって。それで自分の影を入れたらもっといいかなと思ったから。

—— **なぜ影を入れようと思ったの？**
自分の影を入れたらお日様も当たってきれいだし。海と大島も入れたかったけど、青い空と青い海と影を入れたらすごくいいと思ったから。

—— **自分らしいと思う写真は？**
これ(「大好きな本」)かな。

—— **どの写真が一番好き？**
「好きな歴史」。歴史、本当に好きだし。まだまだ調べていきたいから。

—— **山田のことをどう思う？**
海があって、山田町。基本的に海があればもっときれいになれる。

—— **海があれば？**
いい感じ。もっとすごい山田町に、なんて。けっこう観光客も多くて、食べ物もおいしいし。遠くから来た人たちもおいしいという言葉を少し聞いたことがあるから。海があるときれいだし。夏も楽しめる。

おうちの方から 以前は、とても恥ずかしがりやで怖がり、人前で話もなかなか出来ないような子供でした。今回も全く知らない人たちと話ができるのか心配していましたが、「楽しかった、緊張しなかったよ」という意外な言葉に驚きがありました。

普段はあまり自分の考えを口に出すタイ

プではありませんが、今回家族に対しての思いや、自分がどんなことに興味があって、どういう考え方をしているのかが少し変わったような気がします。

海の写真に自分の影を入れるという普段では考えないような発想があることに面白みもありました。

4

Dさん

小学5年生 / 11歳 / 男子

自分らしい写真



イトロ列車



しまいろ

一番好きな写真

自己紹介

家族構成：父、母、兄（高校2年）、本人
ペット：—
携帯端末：—
通学手段：徒歩
クラブ活動：卓球クラブ
係・委員会：保健係、図書委員会
好きな教科：算数、社会、図工（物を作るのが

楽しい）
塾・習い事：公文式（週2・国算）、卓球（スポーツ少年団）
趣味・特技：卓球
学校で一番好きな時間：2時間目と3時間目の間の業間休みと昼休み（おにごっこ、サッカー、ジャングルジムなどで遊ぶ）

卓球とYouTube

——習い事は何かしている？

スポ少かな、卓球のスポ少(スポーツ少年団)。宮古ジュニアっていう場所。

——卓球はいつからやっている？

ラケットをさわったのは保育園から。

——それは誰かがやっていたから？

お父さんが。高校からぐらいに。

——卓球の楽しさは？

スマッシュとか決まった時。

——ラケットを撮ってくれたね。

これは自分の時のラケットで。普通に試合とかで使ってるやつ。

——なぜこれを撮ったの？

ここに見えないかもしれないけど、馬龍(※①)って書いてあるんだけど、



馬龍って人が中国で自分が好きなファンで。その(馬龍モデル)のラケットを使ってるし、けっこうお気に入りのやつが。

——どうしてファンになったの？

なんか小学生ぐらいにテレビを見て、それでカッコ良かったというか、強かったから好きになった。

——将来、馬選手みたいに？

なりたい。

——卓球は週何回あるの？

宮古の人達はほぼ毎日。俺は土日だけ、4時間。

——いつから宮古に通っている？

4年生、5年生ぐらいかな、最近。お父

さんが(宮古ジュニア)のコーチが全国大会とか行っていて強いから入ればと言って。

——お父さんはどんな人？

卓球を教えてくれる。

——お父さん好き？嫌い？普通？

(少し迷って)普通かな。

——何と迷った？

嫌いかな。もうウザい。

——なぜウザいと思う？

卓球でね、回転かけてネット越していくのが普通のドライブだけど、それでネットミスしていくと怒るから。

——お母さんはどんな人？

いい人。面白くていつも笑う。

——お母さんは好き？

普通。

——あれ、好きって言うかと思った。

なんか面倒くさいというか。

——どういうところが面倒くさい？

宿題やれとか。弁当早く出せとかいつも言うし。あとはiPadでYouTube見てるから、いいところでいつも風呂入れって言われるから。

——YouTubeは何を見ている？

トムとマルク(※②)っていうやつ。

——それはどんなやつ？

マインクラフトで遊んだり戦ったりする。

——トムとマルクは何がいい？

たまに英語とかしゃべったりして、面白いことやるから。

——友達とYouTubeの話はする？

する。

——どんな感じで？

今日何見た？とか言って、こういうのなんだよとか言って。

——動画を見て真似したりもする？

たとえばフォートナイト(※③)ってゲームがあるんだけど、それで真似したりしてる。

——何をしている時が一番楽しい？

YouTubeと卓球。

——YouTubeはどう楽しい？

寝てて楽しい。寝ながら見るから。

魂の重さ

——電車の写真があるね。

三陸鉄道のレトロ列車。

——なぜこれを撮ったの？

もともと三鉄が好きで。

——三鉄はどうして好きなの？

汽笛とかいい音鳴る。ファーンって。

——レトロ以外にもいろいろな車両があるよね？なぜレトロが好き？

色がいい色。紫。あと、見えないけれど(車両側面)に英語が書いてあるんだけど、それがカッコいいから。

——汽笛がいいって言ってたね。聞こえると気になる？

気になる。

——汽笛でどんなことを思う？

この汽車だなと思う。なんの汽車だって。

——覚えているの？

うん、知ってる。もう暗記してる。午前中は5時40分の一番列車。次がすれ違いの6時50分。で、3本目も7時46分のすれ違い……(中略)……(午後)8時12分、9時54分の最終。

——すごいね！どうしてそんなに覚えているの？

時刻表、めっちゃ持ってるから。学校の時、ヒマな時があるから見てる。

——駅の写真もあるね。

好きな場所。

——なぜ好きなの？

(電車の)すれ違いとか起きるから。



① 馬龍(ま・りゅう/マ・ロン):中国の卓球選手。世界選手権男子シングルス三連覇(2015・17・19年)など、数々の記録を打ち立てた世界チャンピオン。
② トムとマルクの実況チャンネル:マインクラフトやフォートナイトのゲーム実況で人気の二人組ユーチューバー。2018年よりUUUMに所属。

——すれ違いは何がいいの？

(陸中山田駅では)そんなにすれ違いとか起きないから。いつも(すれ違うのは)岩手船越駅って場所だから。

——すれ違いを見に行くことある？

うん。学校の教室から見える。

——神社の写真が二つあるね。

祭り、大杉様。大杉の祭り。

——大杉様と呼ぶの？

うん、俺は、自分は。神輿に神様というかがあるから、大杉様。これ(八幡神社)も八幡様。

——神輿に神様？

なんか見ちゃいけないんだけど、神輿があって、真ん中らへんに開く場所なんだけれど、その中に魂とか何かが分からないけど入ってる。

——誰かが教えてくれたの？

噂で。見たら死ぬっていうか、目がなくなるらしいって噂になってる。

——なぜ撮ろうと思ったの？

大杉様は海に入って暴れたり、山車にぶつかったりして楽しいから。面白いから。

——お祭りに参加している？

神楽に出てる。八幡神楽に出てる。大杉様は八幡神楽と仲がいいからぶつかりにくいから、俺は1年生からずっと神楽やってるから、たぶん小山車に入って山車を守らなくちゃいけないから楽しみ、めっちゃ。

——神輿は？

神輿は高校生以上から。



——高校生になったら神輿担ぐ？

やる！絶対やる。

——なぜそこまでやりたいの？

えっとね、大杉様は海に入るし、魂があるのが気になるから。だって担いでいる時は重さがなくなる。魂っていうのが入っているものがあつたら重くなるし、神社に納まったら取るから、魂か何か分からないけど取るから、それで軽くなるのか。

——八幡神社のほうは？

こっち(八幡神社の神輿)は大杉さんに似てるけど、海には入らなくて。デカいの。黄色、金みたいな色だから。

——それはどう？

きれい。めっちゃきれい。



——大杉様とは違う？

違う。担ぎたいのはこの大杉様。

——八幡様の神輿はあんまり？

重さがいっぱいあるし。そんな走らないから、そうでもない。

——海に入ることと、走ることとどっちに惹かれる？

海。今年は(大杉神社のあばれ神輿を)めっちゃ近くまで見たから、すげえと思ったけど。八幡はそういうのいから。

汚くなっているほうが
いいかもしれない

——校長先生はなぜ撮ったの？



業間とか昼休みにおにごっこして楽しんでる。

——校長先生のどこが好き？

う〜ん、校長先生足が速いから、逃げ切れなかったりするから楽しい。

——「お母さんと友達」は？

役場の保健センターの場所で撮って。たまたまお母さんの友達の人が出て、写真撮った。

——なぜ撮ったの？

(お母さんが)好きだから。

——ちょっと声が小さかったね。どこが好き？

笑顔とかいいかな。笑顔とかね。これ、この「しまじろう」で、遊んでくれるから良かった。

——しまじろうで遊んでくれる時のお母さんはどんな感じ？

もう嬉しい。

——なぜ小さい声になったの？

近くにいないから。バレたくないから。



③ フォートナイト:Epic Gamesが販売・配信するバトルロイヤルゲーム。登録プレーヤー数は3億5千万人を超え、2020年4月に人気ラッパー・トラヴィス・スコットがゲーム空間内でおこなったバーチャルコンサートは同時接続1230万という記録を樹立。ゲームの枠を越えた仮想空間を形成しつつある。

——バレたら嫌?

絶対この友達に言うから。

——「しまじろう」はなぜ撮ったの?

もともとベネッセだっけか来て嬉しかったし。9年間か10年間くらい一緒にいるから。

——一緒にいるからどう?

一緒にいるから、楽しいし。もう壊したくないというか。ヤバいから。

——長く一緒にいるから好き?

(お母さんと)遊ぶからいいと思う。

——ぬいぐるみがたくさんあるね。

ゲームとかでキノピオ隊長(※④)やって、かわいいから。

——なぜ撮ったの?

寝る時、ヒマな時、遊んでるんだよ。キノピオのやつもあると思うんだけど、それでキノピオと遊んでるやつが楽しい。

——どうやって遊んでいるの?

キノピオ隊長がいて、赤のキノピオがいて、青のキノピオはいないんだけど、それで普通に戦ったり(笑)。しまじろうと遊んだりしてる。

——「モクモク」って何?

自分で言ってるんだけど、モクモクってタンポポがあるじゃん。その、なんと言うんだっけ、なんか白いつぼみ



があってこれがね。変なやつがあって、それを取ると白いのが出てきて、開いてこれとかになる。

——タンポポの綿毛かな?

そう、綿毛だ。綿毛のやつ。

——なぜ撮ろうと思ったの?

なんか飛んでいくとフワッって。どこまで行くか気になって。

——「シロツメクサ」は?

えっとね、白くてきれいだからいいし。いっぱい咲いているからいい。

——「イチョウ」はなぜ撮ったの?

黄色が好きで。それでギリギリ(紅葉した葉が落ちずに)あったから。

——黄色が好きなの?

うん。しまじろうとか。キノピオのこの星とか、だから。

——他に好きな色はある?

黄色と赤。

——なぜ好きなの?

赤はゲームで、妖怪ウォッチで太陽神エンマってやつがいるんだけど、そいつが赤でカッコいいしね、強い

から、赤が好きになった。黄色は、しまじろうが。

——自分らしいと思う写真は?

う〜ん。三鉄かな。「レトロ列車」。

——それはなぜ?

最近、三鉄のファンクラブっていうのがあって、そのファンクラブに入って、めっちゃ好きになった。

——一番好きな写真は?

好きな写真……「しまじろう」かな。

——なぜ?

遊ぶしね。保育園の頃からテレビで見ってたから。汚くなってるから写真ではもうあれだけ大切にしたい。

——汚くなっているのはどう?

まあ良くはないけれど、いいんじゃない、たぶん。なんか、う〜ん、汚くなってるほうがいいかもしれない、自分では。

——もう少し聞かせて。

新しくきたやつはもう、手入れる場所が固い。だからもうこれは古くなってるから、やわらかいから。



おうちの方から 三鉄と大杉様を好きなことは知っていましたが、三鉄の事は思っていた以上に知っていて詳しく説明していたことにびっくりしました。大杉様、八幡様についても私たちが親や祖父母から聞いていたものとはほぼ同じに知っていたのでとても

うれしかったです。こうやって伝承されていくのかなと感じました。

山田町の事もとても好きでいてくれて、同じ考えでいてくれてうれしかったです。好きなものに自分なりの意見があってそれをしっかり話していたのにびっくりでした。

5

Eさん

小学5年生 / 11歳 / 男子



サッカーの仲間

自分らしい写真
+ 好きな写真



サッカーの仲間

自己紹介

家族構成: 曾祖母、祖父、祖母、父、母、本人、叔母

ペット: 犬

携帯端末: ー

通学手段: 徒歩(ところどころ走って)

クラブ活動: スポーツクラブ

係・委員会: 体育委員会

好きな教科: 体育、算数、音楽(歌が上手いと周囲から言われている)

塾・習い事: サッカー

趣味・特技: サッカー、釣り、ゲーム

学校で一番好きな時間: 業間休み、昼休み(サッカー、バスケ、ドッジボールなどをする)、体育の時間

家族と釣りと

—家族について教えてくれる？

お母さんと自分とお父さんと、おじいちゃんとおばあちゃんと、ひいおばあちゃんと、あとは俺の父さんの妹と。あと一人いるんですけど……どこだっけ？愛知？結婚してどっか行った。お父さんの妹のほう、一番下。それでけっこう大家族。あと犬が。ミライっていうんですけど。

—ミライは男の子？女の子？

たぶん女の子。俺のお父さんの妹の犬だからそれを撮って。

—ミライは好き？

ミライかわいいです。

—世話もする？

俺は世話してないけど、普通にこうやってなでる。

—お父さんはどんな人？

普通にやさしいです。



—お父さんと休みの日に遊んだりする？

パソコンでなんか動画を見たり。

—YouTubeとか？

YouTubeじゃなくて普通にアニメとか見る。

—それは契約して、いろいろな作品が見られるやつ？(※①)

はい。

—たとえばどのアニメを見る？

「ソードアート・オンライン」(※②)とか、他にもいろいろある。「ニセコイ」(※③)とか「ゼロの使い魔」(※④)とか、めっちゃあるからすごい。

—釣りも好きなの？

はい。最初はお父さんがやっていて、俺がいて。最初デビュー戦で2匹釣った。ドンコとソイかメルかどっちか。2匹釣って、お父さんがボウズ。

—いつもお父さんと釣りに行く？

いや、お母さんと。お母さんは俺がやってから、後で一緒に行こうよみたいな感じになって、そして行ったらどうせ待つんでしょと言ったらめっちゃ来て。え？楽しくね？って感じになって、めっちゃハマってる。

—いつから釣りをしているの？

普通に最近ですけど。4年生かな。あとドンコで、一昨日20何センチのやつ釣れた。

—それは大きい！釣った魚はどうする？

さばきます。お母さんが。普通にド



ンコ汁とか。あとこの前めっちゃフグが釣れた。なんかそれはあまりデカくなくて、子どもというか。最初はぜんぜん分からなくて。それでさばいてる途中に、あれ？これ何？となって。普通に菌とかあるし。ヒレがないというか、近くから見ると顔が違う。それでこれトラフグじゃない？となって。そうしたら後からマフグとなって、さばけないから捨てた。

—釣りは何が面白いんだろう？

なんか大きいもの釣った時とか。ビクビクしてくる(アタリがある)時とか。釣った時のデカさとか、竿がしなっている時がめっちゃ面白い。

—どういう時に釣りに行くの？

サッカーがない日とか。サッカーあっても次の日が休みの時とか行ったりするし、金曜日も行ったり。

—サッカーの後にも行くの？

はい。夜釣りです。

サッカーと好きなもの

—サッカーはどこかのチームに入っているの？

はい。普通に山田のFC山田ヴェルエー二というところに入ってます。

—ポジションは？

バックです。センターバック。

—いつからやっているの？

1年生の12月とか、めっちゃ。

—自分からやりたいって言って始めたの？

はい。あとは誘われたりもしたし。友達に。

—サッカーはどう？

楽しい。

—サッカー関係の写真がたくさんあるね。「エナメルバック」はなぜ撮ったの？

サッカーのやつだから。お気に入りだから。(サッカー関連のものは)ほぼ全部撮ってるから。

—大事にしている順番はある？

全部大事にしているというか……(順番はつけられない)。

——スパイクもサッカーのものだから撮った？

はい。

——サッカーの道具は自分で選ぶ？

はい。カッコいいやつ。

——これはどこのメーカーの？

う～ん？あんま考えたことない。

——ボールもお気に入り？

これも同じくサッカーのお気に入りで。サッカーボールは3つある。

——サイン入りユニフォームがあるけど、宇賀神(友弥)選手が好きなの？

これはお母さんの会社の人にもらって普通に飾ってある。

——E君がお願いしたというより、お母さんがもらってきてくれた？

たぶん。

——サッカーがすごく好きなことが伝わってきたけど、どんな時にすごく好きだなとか楽しいと思う？

う～ん。普通にみんなにナイス！とか言われたり。俺スライディングけっこうするから、それで止めた時がスカッとする。俺、粘り強いんです。一発勝負じゃなく俺粘り強いから、抜かれてもまた行くから、その間シュート打つ瞬間にスライディングして止めます。

——将来サッカー選手になりたい？

いや～、なれないかもしれないから。他の夢も持っています。

——他の夢？

いや、まだ完全に決まってないけど、めっちゃお金がもらえる給料がいい一級建築士とか。

——何かきっかけがあった？

給料がいいとか。お母さんが(給料)いいよ～って言ったから。算数とか得意だから向いているよ～って。

——貯金箱もサッカーボールだね。

これは3年生か4年生の時に自由工作で作って。

——けっこう貯まっている？



はい。けっこう今貯まっています。

——お金を貯めて何を買う？

いや、普通に放置というか、大人になるまで使わない。困った時以外使わない。

——他に好きなことはある？

他には普通にアニメ見たりもする。そういうのも好き。あとYouTubeとかも見るし。

——YouTubeでは何を見るの？

音楽とか聴いてる。あとはサッカーのやつとかも見たり。

——ゲームもする？

スプラトゥーン(※⑤)っていう、あとフォートナイトとかをやってる。

——ゲームやYouTubeの時間は決まっている？

30分。それは全部合わせて。

——もっとやりたいとは思わない？

別に。その時の気分によって決まるというか。やりたい時は明日のやつ

を奪うというか。

——その日はゲームを1時間やって、次の日はゲームやらないとか？

はい。

——本とか漫画は？

本は普通に、漫画。『コロコロ(コミック)』とか、『ジャンプ』とか普通に。あと普通にだいたい4年生の時に『幽遊はく(幽遊白書)』……名前忘れちゃった、とか、『ドラゴンボール』とか、あとは『鬼滅の刃』ってやつがあって、それも読んだりはしたし。あとはいろいろ。

——今は漫画よりもゲームやYouTube？

いや、今も漫画。

どんなお気に入りよりも大事

——この「小物入れ」というのは？
たぶんお母さんの誕生日に作ったや

つです。

——E君が作ったの？

はい。おばあちゃんと一緒に。

——どうやって作ったの？

普通に缶を入れて、布をばあちゃんが買ってきてくれたからそれをやって、普通にポンドとかでいろんなやつをつけたりして。ボタン……ビーズじゃないかな、宝石じゃないけど付け物みたいなそういうやつ。

——毎年誕生日に何かあげるの？

いや。いつも肩もみ券とかやっているから、これが一番だと思います。

——今年は小物入れを作ろうと思ったのはなぜ？

う～ん。なんとなく。いいなみたいな感じ。

——この「LEDランプ」は？

工作です。

——自分で作ったの？

はい。普通に自由工作で作りました。

——作るの大変そうだね。どこが難しかった？

え？どこだったっけ。下の部分は元



からあったんですよ、はびねのやつ(イベント)で作っていたから。これ(球体部分)を作るのにめっちゃ時間が。

——どうやって作ったの？

紐とかをすごいぐるぐる巻きにして、ポンドとかつけるのにめっちゃ時間がかかって失敗したりもしたし。すごく大変だった。でもすっげーきれいなんです。暗闇で電気つけるとすごい。蜘蛛の巣みたいな、このやつが(壁にシルエットで)映るから。

——小学校を撮ったのはなぜ？

う～ん。撮りたかったから。デカいというか、広いから……う～ん、なんだろうな。あとは校庭が普通にきれいだし、遊び道具というかジャングルジムとか遊び道具がけっこうあるから。あと、トンネル山とかがあるから。それでおにごっこが隠れる時に使える。

——自分らしいと思う写真は？

「サッカーの仲間」。

——それはなぜ？

う～ん、なんて言うんだろう。仲間だ

からみたいない感じ。仲間だからというか、なんて言うんだろうな。う～ん、出にくいな。

——サッカーの写真はたくさんあるけれど、みんなで撮った写真を自分らしいと思って選んだのは何が特別なんだろう？

う～ん。なんかどんなお気に入りでも友達が大事だから、みたいない。

——一番好きな写真は？

「サッカーの仲間」。

——ずっと山田町に住んでいるの？

ちっちゃい頃は普通に北上(岩手県内)にいて住んでました。

——今住んでいるところは？

田舎だけど景色がいいところもあるから。

——田舎だと思う？

田舎です。豊間根は。豊間根は田舎だけど、山田とか普通に俺らのところよりはぜんぜん田舎じゃなくて普通に都会みたいない。

——都会に住んでみたいと思うこともある？

まあ、都会でも住んでみたいとは思いますが。都会だと都会にしかないものとかもあると思うし。

——都会はどんなところがいい？

都会だと……なんて言うんだろうな。ホテルとかきれいだし、きれいというか……なんて言えいいんだろう。

——都会にしかないものって？

東京とか行った時、千葉だけどディズニーランドとかあるから、そういうやつがあるし。田舎にはない都会風ななんか。



おうちの方から 大好きなサッカーの写真
を撮るだろうと思っていましたが、サッカー
の仲間の写真について一番好きと答え、
「なんかどんなお気に入りより友達が大事だ
から、みたいない」と答えていたインタビュー
を見てこの子らしいなと思いました。

サッカーを通して、仲間同士で意見がぶ
つかること、喧嘩することもあるようです
が、FC山田の仲間が一番大事でこの仲間と
一緒にサッカーやりたいんだなと思いま
した。サッカーの技術面だけでなく、心も成長
させてもらっていると改めて感心しました。

子どもたちの 写話から見えること

石井
麻木
(いしいまき)



写真家
(震災以来、東北を毎月訪れ撮影)



福本
理恵
(ふくもとりえ)



異才発掘プロジェクトROCKET
プロジェクトリーダー



杉山
泰啓
(すぎやま・やすひろ)



博報堂教育財団
こども研究所

10歳の原体験

杉山 前号の鼎談で福本さんから、収集・分類することが好きだったという子ども時代のお話がありました。僕が10歳の頃は今回のEさんみたいな生活で。週6で暗くなるまでサッカーしてバタンキュー。週1で釣りに行って遊んでいたと。石井さんの10歳頃はどんな感じでしたか？

石井 私は小学校4年生くらいまであんまりしゃべらないで、大人しく本とか読んでるタイプだったんです。母親が画家で姉も一人いるんですけど、小学5年生の頃に母が私と姉に1台ずつ使い捨てカメラを渡して「これで何か好きな物を撮って来なさい」と言われたんです。その時のフィルム1本分・36枚撮った時の感動を、今回うわーっと思いついて。私が撮ったのは、家のブロック塀のアップとか、遠くの影とかで、今とあんまり目線が変わらないんですけど(笑)。お姉ちゃんは人形をきれいに置いて撮ったりとか、姉妹でもすごく個性が出て面白いと思ったんです。

杉山 10歳の時の体験が今のお仕事につながっているんですね！石井さんは東日本大震災以降、ずっと東北に通って撮影をされているんですよね？山田町も行かれたことはありますか？

石井 はい。2011年の大震災の直後にいともた

つてもいられなくなって東北に入って、カメラは暴力にもなってしまうと思っていたので最初はずっと隠すように持って撮影もしてなかったんです。ただ物資や食糧や水を届けに行った時に、カメラを見た避難所にいた方から声をかけられて。「この地獄のような風景を全国に伝えて欲しい」って言われて、写真はそういう役目もできるんだと気づいたんです。それからは「撮って！」という子どもたちとか、「ここ写してくれないか？」と言う人たちのところから写させてもらうようになって。山田町も何回かお邪魔させていただいたんですけど、毎月11日、月命日に東北に行かせてもらっています。

杉山 東北、特に沿岸部の印象はいかがですか？

石井 仮設住宅のお母さんたちが食べきれないくらいおにぎりを用意して待っていてくれたりして、東北の人たちはすごく温かいし、もう大きな家族みたいだと感じていて。

写真は語る、饒舌に

杉山 今回もそれぞれ個性の出た写話が集まりましたが、福本さんどうご覧になりましたか？

福本 まずAさんは、すごいしっかり話ができる子ですね。好きな鉄道について、トンネルの長

さだとか線路の通っている土地の高さだとか、これだけインプットして分析的に見られるってすごいなと。

石井 私がこの子の写真で気になったのが、犬をたくさん撮っていることと、トンネルだったんです。四角いトンネルとか丸いトンネルとか、岩で固められてる場所があるとか、すごいよく見てるなと思って。私もトンネル好きで気にしているんですけど、この子も毎回気にして見てるんだらうなっていうのが伝わってきて共感しました。

福本 Aさんは、一人遊びの時間を大事にしているのも印象的でした。一般的に学校内での関係や社会性の話になると、誰とでも仲良くつき合えることが目指されがちですけど、むしろ自分の世界がしっかりあって、好きなことに静かに向き合う時間を持つことってすごく大事だと思うんです。

杉山 前号の鼎談でも、言葉としては出てこないけれど自分の世界をしっかり持っているお子さんの話題がありました。Bさんも言葉数が多いお子さんではなかったのですが、いかがでしょう？

石井 大人しい子というイメージで、昔の自分にすごく重なって。話すことが苦手で、写真だったり絵だったり自分を表現してきたので。

福本 私も大人しい印象が強かったんですけど、沈黙の意味することが気になりました。インタビューで「……」が意味することはどういうことなんだらうと。表現したいことは自分の中にあるんだけど、伝え方が分からなくて沈黙していることもあると思うので。

杉山 「……」もただの無言ではなく、なにかしら意味があるわけですよね。初対面の人が相手だと話しづらい場合もあるでしょうし。

福本 Cさんのインタビューで、Bさんがすごく励ましたり勇気づけたりしてくれる話が出てきますよね。それを読んで、親密になった友達との間では自分を解放してしゃべることもできるし、愛情をたっぷり出していると知ることができたんですけど、そういう一面は個人へのインタビューだけだと現れにくいんだなと感じました。

杉山 親しい関係とえば、Bさんの写真には弟たちがたくさん写っていますね。

石井 Bさんの弟や家族を撮った写真がすごい

温かくて、動きがある写真もけっこうあるんですよ。「はい、ポーズ」って撮った感じじゃなくて、一緒に遊んでる中で自然に撮ったっていう感じがいいなと思っていて。人物で言えば、家族や身近な人たちをこういう温かい目線で写せるということは素敵なことだと思います。やっぱり出るんですよ写真って。(被写体との)関係性とか、どういう目線で見てるかっていうのがありますと出ちゃう。

杉山 言葉にはなっていないでも、写真にBさんの温かい眼差しが現れているわけですね。次のCさんはBさんと幼稚園からの仲良しですが、どんなことをお感じになりましたか？

福本 Cさんは探究をしまくってる印象が強いですね。「本が好き」じゃなくて、「学校での物語が好き」という限定したカテゴリに着眼しているのもすごく独特だし、お父さんやお母さんについての語りに表れている普段自分が見ている情報と見えていない部分をつなげていく推測力みたいなものもすごく豊かだと感じました。

杉山 学園ものの小説を読んだら、すぐに参考にして自分の生活の中でも実践しようとするのもなかなかできないことだと感じました。

福本 そうですよ。『走れメロス』を読んだらすぐ作者の太宰治について調べていたり。強制されているわけではなく、気になったことをなんでも自分につなげて、さらに日常に還元して世界を広げていくっていう、そういう学び方が自然にできている印象がすごいです。

石井 この子もお姉ちゃんと家族を写した写真の雰囲気がいいなと思ったんです。自分は笑顔じゃないけど、お姉ちゃんの写真がすごく良いから選んだという写真もあって。その時の思い出を大事にしていることや、お姉ちゃんへの愛情が感じられるのもいいなと。家族の絆が写真からも感じられるし、Bさんとの話を読むと友達の絆もすごく大事にしている子なんだなと思いました。

自分の感性を大事にできるということ

杉山 次のDさんはいかがでしょう？

石井 「モクモク」が一番好きでした。綿毛のこ

とをモクモクと表現して(笑)。風に吹かれてどこへ行くのかなっていうところから思い浮かんだモクモクちゃん。もう、優勝でした、私の中で。あと三鉄の「レトロ列車」なんか構図もすごくいいし。

福本 石井さんがおっしゃっていた「モクモク」っていう表現。綿毛っていう名前を知っていませんが、それをあえて使わないってところに自分らしい感覚のピュアさを感じました。「綿毛が飛んでったよ」って言う時と、「モクモクがさあ」って話す時って、やっぱりそれに対する思いや距離感って変わると思うんです。そういう感覚を持っているからこそ、しまじろうに愛着を持ち続けたり、手を入れるところの触感の違いから汚くても古いほうがいいって言ったりできるのかなと。自分の感性にしたがってピュアな部分を大事に残せてるところが素晴らしいと思いました。あとはお祭りについてすごい熱量で「めっちゃカッコいいんだよ」って話している。

杉山 お母さんとお話した時に、ご自身も子どもの頃から伝え聞いてきた伝承をDさんがすごくはっきりと語っているのに驚かされていました。

福本 カッコよさとか憧れっていうものが惹かれる原点にありつつ、畏れみたいなものや、謎めいたことをベールに包んだままで大事にしておこうっていう精神性みたいなものが、まるっと次世代に受け継がれている様を垣間見たような気がして。文化ってこうやって受け継がれるのかなと、ちょっと嬉しくなりました。

杉山 自分のピュアな感覚と伝統的なものとが共存しているわけですね。Eさんはどうですか？

福本 Eさんはバランスがめちゃくちゃいい子だなと思いました。自分の好きなサッカーや釣りをやりつつ、勉強もしっかりやっている感じがあるし、Youtubeとかアニメとか娯楽に対して時間も取ってるし、まんべんなくいろんなことをやっていて。受け答えもしっかりしていて、冷静な印象が強かったですね。たぶん大好きなサッカーが軸にあって、サッカーを通して自分の意思を表明したり、スパイク選びひとつとっても自分の好きなことを細かく選択する機会がちゃんとあるからこういう受け答えができるんでしょうね。

石井 そこにある物を移動させたり演出したり

せずそのままの状態撮ってる写真が多い子だと思いました。見せたいものを寄り撮ってる印象も強くて。色合いも赤黄青とかパキパキしてて、見てもらいたい物がはっきりしている子なんだろうと写真からも話からも感じました。あと、「失敗写真」というくくりの中で町の陸上記録会でもらった(ピンボケしたり見切れてしまった)金メダルを10枚以上撮り直してて、どうにか見せたかったんだな、すごいかわいいなと思ったり。

杉山 山田町の子どもの話をご覧になって全体的に感じたことはありますか？

福本 本当に密なコミュニティの中で、家族との時間を中心とした時間が子どもたちの軸になっているのがとても印象的でしたね。小さくて安定したコミュニティの中で安心感がある関係が築けたら、たとえば都会に出て一人暮らしを始めるような時にも、また違うバリエーションの人間関係を築いていく強固な土台になるんじゃないかと思います。

石井 素朴っていうか、自分の好きなものにまっすぐ向かって写真を撮っていて、この子はこれ(が大切)なんだっていうのが素直に出てるっていうのが一番感じたことです。この子たちの一瞬一瞬の視線は成長と共にどんどん変わっていくと思うんですけど、この時にその子が見ていたかったものがその時の感情と一緒に残ることが本当に素晴らしいと思います。普段、子どもから撮った写真を見せられることもあるんですけど、写真は上手い下手よりも、感じたものを大事にすることが大切だと思っていて。この子たちもちゃんと好きなものを撮っていて、それぞれ最高の写真だと思いました。

石井麻木 (いしい・まき)

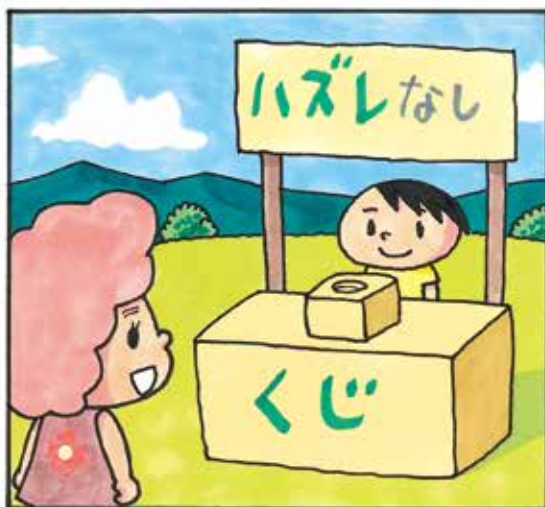
写真家。1981年東京都生まれ。東日本大震災発生直後より東北に通い、人々の姿と共に現地の状況を写し続けている。2014年、『3.11からの手紙 / 音の声』を出版。同名の写真展は現在も全国を巡回している。

福本理恵 (ふくもと・りえ)

異才発掘プロジェクト ROCKET プロジェクトリーダー。1981年兵庫県姫路市生まれ。東京大学先端科学技術研究センター「異才発掘プロジェクト ROCKET」にて子どもの特性に合わせたカリキュラムを開発している。

アタリ 子みかるわーるど ハズレ

第4話「あたったはずれた」
榎本俊二



おわり

調査後記(こども研究所研究員から)

山田町の風土・風習でこそ醸し出される数々の体験を、子どもたちが、自分の言葉で一つ一つ丁寧に語ってくれました。その語りを通じて、自分で考え・想像する余白時間の存在にあらためて気づかされました。(S)

土地のお祭りから駅前にある小さな町営図書館まで。インタビューした子どもたちが全員、地元の魅力を目を輝かせて夢中で語ることに驚きました。そして、親御さんたちとお話しするうちにその理由がわかりました。親御さんたちが心から山田町を愛しているんですね。日々、住まう土地の魅力を大人から聞いて育つ子どもたちは幸せだなと思いました。(Y)

毎回、インタビュー結果を見た保護者の方から、「子どもの成長を感じた」という声をよく聞きます。そもそも我が子がインタビューにきちんと答えていること自体が驚き、とも。写真やインタビューを通して、子どもの成長が見える。このレポートを見た方から「自分の子どもにも調査してほしい」とよく言われるのは、そんな理由からかもしれません。(F)

鼎談で写真家の石井さんもコメントされていた「モクモク」という表現。子どもが言葉を獲得するときは、まず事物に接した印象を動詞的に把握するのだという、発達科学の研究者のお話を思い出しました。いきなりタンポポを抽象的な「タンポポ」とはしない。改めて、体験と言葉の関わりについて、考えさせられました。(W)

写話による、ありのままの子ども

Vol. 4 岩手県山田町編

発行日:2020年7月3日

発行人:寺島二郎

発行:公益財団法人 博報堂教育財団

〒100-0011 東京都千代田区

内幸町二丁目2番3号日比谷国際ビル14階

Tel 03-6206-6266

www.hakuhodofoundation.or.jp

※本誌の内容は、ウェブでも公開しています。

企画・編集:博報堂教育財団 こども研究所

編集・構成:沼上純也(イキマ)

アートディレクション:大西隆介(direction Q)

デザイン:大西隆介+沼本明希子(direction Q)

印刷・製本:田宮印刷株式会社

バックナンバー

Vol.1 東京都中野区編 2020年2月発行

Vol.2 広島県江田島市編 2020年2月発行

Vol.3 群馬県前橋市編 2020年6月発行

©公益財団法人 博報堂教育財団 2020 Printed in Japan

本誌掲載の記事・写真の無断転載をお断りします。

バックナンバーはすべてこども研究所のウェブサイトにて公開しています。

www.hakuhodofoundation.or.jp/kodomoken/



ユンが



さつき・わたあ (2)



トロワ

